

「品川区水とみどりの基本計画・行動計画」（改定素案）に対するご意見と区の考え方

No.	意見	区の考え方
1	豊かな自然環境を整えることは未来の世代に対する責務と考えます。 よって、水質に関する目標が、区民満足度になっているが、具体的な水質の目標にするべきだと思います。	現状の河川、運河の水質は、環境基準を満たしている状況のため、継続した水質改善対策に取り組むとともに、今後は、区民の方が『水のきれいさや水辺空間』に満足していただくよう、行動計画に示した様々な施策に取り組み、区民満足度を向上していきたいと考えております。
2	夏でも遊べるように、水遊びのできる公園を増やして欲しいです。	水辺空間の整備・活用に取り組み、水や生き物とのふれあいの場づくりを進めてまいります。また、身近に感じられる水とみどりをはじめとした自然環境の場として、公園内の池や湧水地を活用した空間整備を進めてまいります。
3	水辺の計画目標「①水のきれいさや水辺空間の区民満足度」について、視覚だけでなく、嗅覚、聴覚など、目や耳の不自由な人にも優しくあってほしいです。	「水のきれいさや水辺空間の区民満足度」を向上させるための様々な取り組みにおいては、目や耳の不自由な方々にも配慮し進めてまいります。

No.	意見	区の考え方
4	<p>目黒川の水質浄化を早くお願いしたい。何十年も前から特に夏場、メタンガスのような臭いが、上大崎4丁目の高台まで臭うほど強いものです。また、目黒区にある太鼓橋から品川区にある市場橋沿いの住民は窓を開けられないと聞いています。一方、中目黒方面ではあまり臭いを感じないのですが、どうして私たちの辺りは臭うのでしょうか？</p>	<p>目黒川では、潮の干満を受けて、河川水が滞留することや大雨時に合流式下水道から汚水混じりの雨水が放流されることから、河川の白濁化や悪臭発生などが見られ、水質が一時的に悪化することがあります。特に、太鼓橋下流では、水深が大きくなり河床の勾配がほとんどないため、水が滞留しやすく、河床に汚濁物が堆積しやすい状況です。そのため、水質改善対策として、河床に堆積した汚泥の浚渫を行うとともに、目黒川の流量を確保し水質を浄化するため、新宿区にある落合水再生センターで処理された下水再生水を目黒川に放流する取組などを実施しております。今後も引き続き、東京都や目黒区などと連携を図りながら、さらなる目黒川の水質改善対策に取り組んでまいります。</p>
5	<p>改善策として、大崎第一地域センター事務所の地下にある「目黒川荏原調節池」の空間を目黒川の悪臭や汚れなどを浄化する施設として活用できないでしょうか？</p>	<p>東京都によると、目黒川荏原調節池は、台風などの大雨で川の水位が上昇した際、水を取り込み、浸水被害を軽減するための施設であり、浄化施設を設置すると現在の貯留機能を損なう恐れがあるため、難しいと聞いております。</p>

No.	意見	区の考え方
6	みどりがあることは大変良いことですが、そのメンテナンスも大切だと思えます。例えば、夏にジメジメした水たまりを作らないようにして、蚊の発生源を作らないようにすることもできるのではないのでしょうか？	基本方針5「区民と行政が一丸となって水とみどりを育む」として、維持管理をはじめとする守り育てる活動の支援などを位置付けております。維持管理には行政のみならず区民の皆さまと一体となって取り組んでまいります。
7	「みどり」と言われると、森林、樹木、原っぱ、公園や花壇などを連想するが、計画上の定義は？	本計画では、市街地を構成する樹林、草地、樹木や草花などの植物そのものと、土や生き物などの自然を構成する要素、公園や広場、草地、人との関わりの中で育まれた歴史的・文化的要素を総括して「みどり」としております。
8	「みどり」について、今あるものを維持して行くのか、さらに樹木の本数や公園等を増やしていくのかがよく分かりません。	区内全体において15haのみどりを増やすことを目標としております。基本的には、今あるみどりを守りながら、民有地緑化制度の充実等を通して、公有地・民有地問わずまちなかの様々なスペース利用など、開発事業者も含めた地域による緑化推進に取り組んでまいります。
9	「みどり率」の10年後は21.7%となっていますが、現状は何%ですか？	現状（令和元年度時点）のみどり率は21.1%であります。